

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	富里市簡易マザーズホーム		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	担当職員が訪問することで安心して支援を受ける事ができる。	関係作りが整った上での訪問支援を行っていることで、担当職員の直接支援に対し抵抗なく受けられるようにしている。	訪問先の園での困り感を確認し、できるだけ事前に事業所内で確認し、手立てを検討して訪問に伺う。
2	報告の仕方を保護者と検討し、報告書において場面を具体的に明記し、支援の仕方がイメージできるように保護者に伝えている。	文書と口頭報告で細かくお伝えできるようにしている。	保護者が園での様子をイメージしやすいように状況や背景を伝え、園での変化を園側からも保護者に伝えていただく。
3	職員がお子さんと信頼関係を築き、特性理解に努めている事、研修などでスキルアップに努め、色々な支援の方法をお伝えできるように努めている。	色々な研修や文献での情報収集に努めている。	今後も事業所内でのグループ療育や個別支援において、職員皆で検討し、より良い支援案提供のための話し合いを行っていく。また、訪問時以外にもこまめに連絡を取り合うことで連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	異動があることで訪問支援を行える職員の人数が少なく、全体的に経験年数が浅い。	公的機関のため、職員の異動があることで早期の異動だと経験を積むことが難しい。	臨機応変に対応できるスキル獲得のために経験が必要になる。利用希望保護者とお子さんに対し適切に応えられるように人事担当に伝えていく。
2	児童発達支援と兼務のため、訪問に伺えるお子さんの人数に限りがある。	児童発達支援も兼務で行っているため、日程調整の難しさがある。	訪問支援員の十分な確保のため、人員要望を人事担当に伝えていく。 訪問支援員の業務負担のため、調整を行う必要がある。
3			